

2025.3.13 (木)  
第 34 回例会  
(通算3796回)

## 2024-2025 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「地域を愛し、未来を語る ロータリーの輪を広げましょう」

第86代会長 高橋 直人  
副会長 吉田 英一  
幹事 東堂 光春  
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00  
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル  
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F  
☎ 0154-24-0860 ☎ 0154-24-0411

2024-2025 年度  
国際ロータリーテーマ



2024-2025 年度  
R1会長 ステファニー A. アーチック  
第 2500 地区ガバナー  
小谷 典之 (帯広西 RC)

**本日のプログラム** IMに参加して(理事会)

**次週例会** 釧路RC体育祭(親睦活動委員会)

- ロータリーソング：四つのテスト ■ ソングリーダー：吉岡 和美君
- 会員数 104 名
- ビジター 第 2500 地区 第 7 分区 佐々木 勉ガバナー補佐・IM 実行委員会 中村圭佐委員長  
釧路北ロータリークラブ 迫田 武君・篠原 恒也君
- ゲスト

### 会長の時間 高橋 直人会長



会員の皆さん、こんにちは。今日の会長挨拶は、先日開催されましたIMでお話をした小船井パストガバナーの講演のことをお話させていただきます。欠席の会員の方もおられましたから大変興味深い講演でしたので改めてあらすじのご紹介をいたします。

IMのテーマは『ロータリーをもっと楽しもう』でした。小船井パストガバナーのテーマは『ロータリーの魅力を楽しむためには』でした。

本題の前にハラスメントの最新情報「ハラスメントは会員の身分とクラブの終結をもたらす」との説明をいただきました。内容ですが、ロータリーにはいかなる形であれ、ハラスメントのない環境を維持することに力を注いで行かなければならない。会合、行事、活動に参加する全ての人、全参加者の安全・礼儀・尊厳・尊重を大切にする環境を築くことに努めなければなりません。

IRは虐待、およびハラスメントの防止と報告手続きを行うようになりました。メールにて報告するようです。そこで、「ハラスメント加害防止」が作られました。全ての会合で、懇親会で「さわるな」「酒を飲むな」「しゃべるな」です。

確かに、間違いのない防止策ですが、「あまりにも面

白味がないと思いますので、この三つを重なり合わせて、三つが重複することを避けましょう」と小船井パストガバナーは仰っておりました。

あと、「魅力の源泉とはなんでしょう」から、IRの1905年からの方針について詳しく説明いただきました。2025年に停滞期になっておりますので、会員拡大が欠かせないようです。そのために、ロータリーの魅力を伝える方法は多様な新会員を歓迎し、思いやりの文化を重視し、いわゆるDEIの推進で新クラブの結合と育成です。インクルーシブなクラブ文化を作るために努力しましょう。

その他、歴代RI会長のお話をいただきましたが、その説明は時間の都合上、割愛いたします。

最後に、ロータリーは確かに素晴らしい「縁」を提供しているが、自分が求めなければ「縁」はない。「縁」がなければ「絆」はない。ぜひ、地区委員、地区会合、全国の会合に参加して欲しいと小船井パストガバナーは仰っておりました。

大変雑駁ではありますが、以上で本日の会長挨拶とします。今日も楽しい例会にしましょう。

### 幹事報告 東堂 光春幹事

皆さん、こんにちは。第9回理事会の議事録が出来上がりましたので、ホワイトボードに張っております。後ほど、ご確認ください。

先ほど、ご案内がありました北クラブ主催の職業奉仕講演会ですが、締め切りが24日までとなっております。後ほど、皆さんにメールを送らせていただきます

すので、参加希望の方はメールの返信をお願いします。

先日のIMですが、全員登録した関係で、欠席者分のお土産が残っておりますので、出席されなかった方は必ずお持ち帰りください。おそらく、それでも残ると思います。お菓子の賞味期限が20日までとなっておりますので出席された方もお持ち帰りいただきたいと思います。お子さん、お孫さんに差し上げてください。

最後に、5月31日に札幌で開催の日台ロータリー親善会議の締め切りが、来週月曜日の17日までとなっております。ご希望の方は事務局までお知らせ下さい。

## IMについてのご挨拶

### 第7分区ガバナー補佐 佐々木 勉君



皆さん、こんにちは。第7分区ガバナー補佐の佐々木です。

去る3月8日に開催されました第7分区IMは、皆さま

のご協力の下で盛会裏に終了することができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

特に、小船井修一パストガバナーにおかれましては、「ロータリーの魅力について」をととても分かりやすくご講話をいただきました。重ねてお礼申し上げます。ありがとうございました。

また、本日はいらっやいませんが、吉田潤司パストガバナーには友愛の広場で最初に祝辞をいただき、友愛の広場を引き締めていただきました。

友愛の広場で皆さんにお願いをしました「エンド・ポリオの募金」は、48,307円を皆さんからの貴重なご寄付をいただきました。重ねてお礼申し上げます。

私のガバナー補佐として一番の仕事が終わったのですけれども、補佐としての任期はまだ4カ月弱があります。残されたイベントもありますし、果たすべき役割もまだいくつかあるそうですので、これからも気を引き締めて頑張っていきますので今後ともご協力の程、よろしく願いいたします。本日は貴重なお時間をありがとうございました。

### IM実行委員長 中村 圭佐君



皆さん、こんにちは。IMの実行委員長としてお礼を申し上げます。

パストガバナーの小船井修一さん

には基調講演をしていただき、吉田潤司パストガバナー

には友愛の広場でご祝辞を賜りました。また、会長、幹事さんをはじめ、多くのメンバーの皆さんが友愛の広場で「手に手つないで」が終わる最後まで残っていただき、IMを盛り上げていただきました。大変ありがとうございます。

私の仕事はこれで終わりですけれども、まだ決算が残っているので少し心配ですけれども、これを乗り切りたいと思っています。

この場を借りまして本当に釧路ロータリークラブの会員の皆さんには大変お世話になりました。ありがとうございます。

### 釧路北ロータリークラブ会長 迫田 武君



皆さん、こんにちは。貴重な例会の時間をいただきまして、職業奉仕講演会のPRをさせていただきたいと思いますので、どうぞよろし

くお願いいたします。

先週のIMでも、小船井パストガバナーにPRをしていただきましたけれども、当クラブで職業奉仕講演会を開催することとなりました。皆さまに参加していただきますようお願いに来たところでもあります。

講演会は7月2日水曜日、18時30分からプリンスホテルの3階にて、2680地区の姫路ロータリークラブ所属の安平和彦パストガバナーを講師にお迎えし、職業奉仕について講演していただくことになっております。

職業奉仕は、ロータリークラブの一丁目一番地だと思っていますので、皆さまとともに学ばせていただき、そして少しでも皆さま方のお役にたてるようにと思ひまして、この講演会を企画したところでもあります。釧路クラブの皆さまには何かとお忙しい中かと思ひますけれども、多くの皆さまにご参加いただきますように切にお願い申し上げます。

また、この講演会は例会扱いとさせていただきます、メークアップ扱いとさせていただきますので、多くの皆さまの参加をお願いいたします。

今日はリーフレットを持って来ておりますので、左の掲示板に張らせていただきましたのでお帰りの際には見ていただきまして、皆さまの参加を切にお願いするところでございます。

今日は貴重な時間を取っていただきましてありがとうございました。よろしく願い申し上げます。

### 釧路ロータリー嵯峨記念育英会委員会

#### 西村 智久理事

先週のロータリーの嵯峨記念育英会卒業者例会で釧



路新聞に取材を受けまして、記事になりました。釧路新聞を取っていない方、ここにコピーがありますのでご覧

ください。

嵯峨記念育英会の理事・評議員の皆さま、この場で業務報告として理事会・評議員会を開催させていただきます。さきほど配りました資料を基に、皆様から何もなければ承認を得たということで続けたいと思います。

よろしいでしょうか。(はい)  
どうもありがとうございます。

4月になりましたら、皆さんが集まって一席設けて、その時にいろいろな意見を聞きたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

ありがとうございました。

## 退会のご挨拶

### 北海道新聞釧路支社支社長 吉岡 和美君



こんにちは。ご紹介いただきましたとおり、4月1日付けで弊社の人事異動で札幌本社に異動となりました。

釧路ロータリークラブのメンバーに入れていただきまして、わずか1年9カ月の短い期間でしたけれども、昼と夜の例会、NAYUTAの会、いろいろな場面で、ロータリアンとしては全くお役に立てなかったと反省しております。いろいろな場面で釧路ロータリークラブの会員の皆さまには近しくお声掛けもいただき、遊んでいただきました。本当にありがとうございました。

4月からは、また札幌の本社勤務になりました。私は元々販売局というところが出自なのですが、要は吉田秀俊さんですとか全道の北海道新聞の販売所長の皆さんとのお取引を円滑にする部署の責任者となります。

皆さんがご存知のとおり、弊社も新聞だけの商売ではなかなか大変でございまして、かつては「産めよ、増やせよ」で、吉田さんにもジャンジャン行っていたのですけれど、そうもいきません。これからは、デジタルだとかなんだとか、私も頭が及びませんけれども、新たな場面にチャレンジすることになると思います。

時々、北海道新聞はいろいろな方の悪口を書いたり

して、怒られる時もあるのですが、これもロータリーで勉強させていただきましたけれども、わが社の生業でございますので、そこをなんとかご容赦をいただき、どこかの場面で北海道新聞のご愛顧ご愛読をお願いできればと思っております。

ホントに短い間でしたけれども大変お世話になりました。釧路ロータリークラブの益々のご発展ご繁栄ともうすぐ迫る創立90周年の一大事業が大成功しますようにお祈り申し上げまして、簡単ですけれどもご挨拶とさせていただきます。

ホントに短い間でしたけれども大変お世話になりました。

## ■本日のプログラム■ IMに参加して

### 小船井修一 Pastガバナー

#### 【規定審議会の内容の補足】

(省略)

### 中島 徳政君



2番目の中島です。当日は少し遅れて行ったので4番目と聞いていたので、後半の友愛広場のあたりの話をすればいいのかなと思ってい

ましたら、なんと小船井さんの次ということで。この後も次年度三役が続くので私は何もしなくてもいいのではないかなと思っております。

今回のIMのテーマは「ロータリーをもっと楽しみましょう。基盤拡大へ向けて」ということでスタートをしました。先ほどお越しいただいておりましたガバナー補佐を中心に、インターシティミーティング(地域連合会)という名前でこの7分区の地区大会のような形で行われたこととなります。

開会セレモニーがあって、メインプログラムは小船井Pastガバナーの基調講演で「ロータリーの魅力を楽しむためには」というお話がありました。その後2部ではトークライブで「浪花節でいこう」ということで桜木紫乃様がお見えになって1時間のお話をさせていただきました。

桜木紫乃様と言っておりますが、私の高校の後輩でして、私が1期で彼女が4期ということで、私が出て入ったのですれ違いもなにもない状態ですけれども、釧路東高校のご出身です。次の日には、コーチャンフォーのほうでイベントがあったそうです。今度は、お父様のことを書かれた『人生劇場』というご本を出されることとお見えになっていたようです。



とても明るく、よくしゃべられる方で、友愛の広場の最後のほうではステージ前に立って一緒に踊られるというような光景も見られましたので合わせてご紹介させていただきます。

閉会のあと、友愛の広場ということで懇親会が行われております。こちらでは『太平洋太鼓』の皆さまの演奏と『The11+(ザ・イレブンプラス)』という地元の方たちの方が来て、大変大きな音で演奏されておりました。私たちは耳が弱いものですから、途中抜けをしてしまいましたけれども、そういう形でたくさんの方がお見えになっております。

登録者数が当日発表になっておりまして、7分区311名に対して160名の方がご出席ということでした。ちなみに釧路ロータリークラブはメインのほうで29名、友愛の広場が30名で、友愛の広場が1人なぜか多いといううちならではの形になっております。

そんなことで、この後まだ4名の方がお話されますのでこのくらいにしたいと思います。当日来られた皆さん、ご苦労様でございました。

最後に付け加えますが、先ほどのお菓子はうちのものではなく、春採の『クランツ』という洋菓子協会の会長様のお店のお菓子ですので、ロータリーには関りのない方ではございますけれども、ぜひ食べてやってください。それでは失礼いたします。

## 荒井 剛君



皆さん、こんにちは。次年度三役ということで、その三役のトップバッターとして私が話させていただきます。「IMに参加して」ということで、そのときの話をさせていただきます。

会長のあいさつでも触れておりましたが、印象的だったのは小船井パストガバナーによる基調講演でした。その話をしようと思っておりましたが、高橋会長にいろいろ話をされてしまいました。

基調講演としては「ロータリーの魅力を楽しむため」ということを小船井さんが話をされていたのですが、その前のハラスメントの話が出たときに、今日話されたことも念頭にいろいろ話をされたのだなと思っておりました。

その中で紹介された事例で、世界のロータリーでは実際にクラブが終結されたということも報告されておりました。特にここ数年、国際ロータリーでハラスメントに対して厳しい方針を執っていると。現実それが結果になって表れているということを見てもハッと思いました。例えば、インドの地区とかではアクトクラブが現実に2023年5月に終結になったと聞いており

ます。

あとは、ロータリークラブが発祥をしたアメリカで起きていることなのですが、ハラスメントを理由に地区ガバナーの方が地位を剥奪されたうえ、クラブ会員身分も終結しています。その決定に対してそれを拒否したクラブ自体が終結に至ったというショックな話を聞いております。これが2023年1月ですので、現実にも今、国際ロータリーはハラスメントに対して厳しい姿勢をとっているなどということを実感しました。その後出てくる会員資格について、会員を増やそうということで柔軟性を取り入れようといういろいろ会員資格を緩める、あるいは衛星クラブとか、そういった会員資格を広げるにあたっての柔軟性はあるのですが、ハラスメントに関してはまったく柔軟性がないのです。

ちょっと仕事からめて申し上げますと、刑事事件の場合には、捕まった時点ではまだ有罪ではないので「無罪推定の原則」といわれていますけれども、このハラスメントに関しては訴えられたら「有罪推定」を前提でこれに対応せざるを得ないのではないかとこのところが非常に厳しいのではないかと感じております。現実にもどうかが行われたかという事情聴取を受けるところ、そのうえで認定するとは思いますが、それにしても、訴えられたら勝ちというのは明らかにおかしいと思っていますので、それはなにかおかしいなと思っています。

個人的に思ったのが、ハラスメント自体を容認しないということ自体は問題ないなと思っはいるのですが、その手段が、0か100いうところが少し柔軟性に欠けているのではないかな。ハラスメントに対して厳しい姿勢で臨む、それはいいと思いますが、直ちにクラブの終結というのはあまりにも極端ではないかなと思っところでした。ちょっと固い話になってしまいましたが。

「ロータリーの魅力を楽しむため」という内容自体はさすが、ザ・ロータリアンだと思っしております。小船井さんのこれまでの規定審議会の話とロータリーの歴史をふまえて、どういう流れでこれまでできていたのかを紹介していただきました。ただ、冒頭でもお話申し上げました会員拡大のために柔軟性を取り入れることはいいにしても、その結果、現実にも今どうなっているのかというところを見ると、ロータリー発祥の地のアメリカだったり、ロータリーが盛んだったイギリスだったりでは10年前に比べたら会員数が大きく減っている。それはどういうことなのだろうか、というところをもう一回、見直さないといけなのではないかと言われていたところは確かにそうだな、と私も思いました。

そうは言っても、私は現状維持でいいとは思っいないので、現状維持は衰退だという言葉もありますよう

に、会員の拡大に目を向けることはもちろん必要だと思っております。

小船井パストガバナーの基調講演でも紹介されていましたが、私もどこかで話したと思うのですが、高崎ロータリークラブの田中久夫さんが書かれた『ロータリークラブに入ろう！』という本は非常に面白い内容で、去年、紹介して読んだのですが、今年の7月までにこれをもう一回読んで、ロータリーの魅力ってどうなのかを自分で見てみて少し勉強したいと思っております。

以上です。どうもありがとうございました。

## 池田 一己君



皆さん、こんにちは。私も参加させていただいて、小船井パストガバナーの言葉が非常に勉強になりました。パストガバナーの持ち時間は

1時間だったのですが、最初にハラスメントのお話から始まって、ああ今日そういうお話だったのだなと思ったら、15分ぐらい経ってから「前座はこの辺にしまして」と言われてそこから本題が始まりました。

最初のハラスメントは、私も仕事柄、ハラスメントを防止することでは専門分野ではあるのですが、パストガバナーが言われていた「しゃべるな、触るな、酒飲むな」という3信条が心に響き、酒飲むなは守ることができると思うのですが、逆に下戸の人間が酒飲むと、他のふたつが崩れる危険性もはらんでいると感じさせていただきました。

パストガバナーが出された本題のパワーポイントの中で、伝統的なクラブの活性化というコメントがあって、そこが心に響いたのです。いま、国際ロータリーも含めイノベーションだ、改革だ、いろいろなものを変えようとしているなかで、本来のロータリーとしての基本、原点を忘れ始めていないかと警鐘を鳴らしていただいたと思いました。思ったことは、小船井パストガバナーからいただいた言葉で思い浮かんだのが「不易流行」という言葉です。変えるべきことは変えていくけれども、本質的に大切なもの残さなければならないものは残すという、その両方が今求められているのだろうと感じました。

その後で、桜木紫乃さんの講演になったのですが、パストガバナーの言葉の中に「動かなければご縁というものを掴むことはできない」という言葉があったのです。その後の桜木紫乃さんの言葉の中に「一生懸命に生きていけばいいご縁に出会う。一生懸命に生きていなければ会えない縁がある」と話されて、その

前のパストガバナーの言葉を受けたのかなと思いつつ、そこが第1部と第2部の講演会としていいお話をいただいたなと思いました。

原点に戻るというところでは、「入りて学び、出でて奉仕せよ」というロータリーの原点をまた改めて教えていただいたところです。

ハラスメントというのがいま弁護士からのお話もありましたので、社労士としてのお話をします。「ハラスメント」という言葉は、何でもかんでもハラスメントと言う人がすごく出てきているのです。

私はハラスメントを受けるであろうといわれる若い人たち、管理される側の人たちだけが集まったときに言うことです。ハラスメントがうるさい時代に、上司や先輩があえてリスクを冒して厳しい指導をしてくれるものを受け入れられないのだったら、あなた方は成長しませんよ、という話をするようにしています。結局、「僕は厳しい指導は無理です」と言うのだったら、最初にバンザイをしておいてもらったほうがすごくやりやすいです。でも、成長したいという人たちがいるように、いま上場企業の中で「こんなぬるい環境では、自分は成長できない」という離職理由で若者が辞めていくのが急上昇しているのです。

例えば、ロータリーでしきたりというもので「それは失礼だからダメだよ」と言われて、それをハラスメントだと言い出したら、そういった秩序も壊れていくのではないかと思います。

最後に、アルコールハラスメントの話があります。さっき、「酒飲むな」という話があったのですが、私は一昨年の納涼ビール例会で関向さんにアルコールを飲ませていただきました。

関向さんは私を気遣って「今日はビールパーティーだからノンアルコールビール飲もうよ、池田君」と言っていたので、ホテルに「ノンアルコールビールを」と頼んだら、出てきたのが「糖質ゼロのビール」でした。すごくリアルなビールだなと思って飲んだら、そのまま家に帰らせていただきました。という、アルハラというものも流行ってきていますけれども、まずは飲まないように次年度頑張りたいと思います。

どうぞよろしく願います。ありがとうございました。

## 横田 英喜君



こんにちは。自分はIMには仕事柄あまり参加したことがなくて、今回は2回目の参加になりました。先ほどいらっしやいました東ロータリークラブの佐々木ガバナー補佐の穏やかな話し方

が私は好きでして、昨日もお会いする機会があって隣で話させていただきました。また、セレモニーの司会をしていた内山さんは締まるというよりも柔らかい口調の話し方でいい会だなと思っておりました。

先ほどからの小船井パストガバナーのパワハラ・セクハラの件と、飲むな・触るな・しゃべるな。池田さんの飲まないのは次年度三役の皆さんお酒飲めないのも問題ないのですけれども、しゃべるのが好きな自分と触りはしないのですけれども、自分のことを言われているのかなと思いつつ、今年のライラセミナーの担当は青少年委員長の私では危ないと思ひまして、自覚しております。

そこで対策を立てました。今年は、男性2名の参加で、釧路クラブから送り出したいと思ひます。ただ今はDEIの時代ですから多様性の時代、男性だからといって油断することなく気を引き締めていきたいと思ひますので、皆さまよろしくお願ひいたします。

以上となります。

### 松井 聖治君



皆さん、とってもしゃべりづらい雰囲気になっております。真面目な話があつて、僕は人選ミスかなと思つたのですけれど、友愛の広

場担当ということで合っているのかなと思つております。

副幹事と一緒にテーブルでしたから指名をされたと思つております。

友愛の広場は、あまりさえない乾杯から始まつたのですけれど、その後に飲食ブースが4つほど、『よしやす』の“ぶたまん”、ラーメンとか、手巻きとかが出ていたのです。乾杯してすぐに“ぶたまん”を届けてくれました。これがおじさんには意外と結構な量の腹にグッとくるタイプでした。食べ終わった瞬間にラーメンが届いたのです。ラーメンを食べ終わった瞬間に、

手巻きが届きました。この手巻きも手では持てないくらいで、箸で食べないといけなような手巻きでした。この3つを食べた段階でもう完全にお腹いっぱいです。キャッスルの料理が食べられないような状態になりましたので、2年後にうちのクラブやる時には、そういったところでキャッスルの料理を検討しないといけなかな。フードロスに関して、と真面目なことを考えながらお腹いっぱい過ごしてしたので

す。その後、さっき中島さんからもありましたけれどバンドの設えがあつたのです。このバンド自体は素晴らしいバンドだったので、なにぶん音量が大きかつたのです。友愛の広場ですけれど、ほぼ話ができない。話したい人もいたのですけれど話をできるような音量じゃなくて、スピーカーの前にはロータリーの重鎮の方が大勢いらっしゃいましたので、まずは耳を心配しました。一生懸命な設えだつたと思うのですけれど、会話とかコミュニケーションとか取れなくなるような音量があつて、考えていかなきゃいけないなと思ひながら参加をさせていただいておりました。

良かったところは、若いコンパニオンがたくさんいたことだつたのですけれど、これがバイトの子が多くて、その後には続かなかつたのは残念なところであり

ます。今回、発表を与えられていたので最後までしっかりとメモを取りながら友愛の広場に参加をしていたのですが、なにぶん音が大きくてちょっと耐えられなくなりまして、3曲目ぐらいで静かな店に行つてしまいましたので、この後の報告ができないのでこの辺で終わらせていただきたいと思います。

どうもありがとうございました。

### 本日のニコニコ献金

■吉岡 和美君 1年9ヶ月の短間でしたが、大変お世話になりました。

今年度累計 421,000円